

第3学年 外国語活動 学習指導案

令和3年1月27日(水) 5校時

第3学年2組 計32名

男子21名 女子11名

指導者 大野 弘貴(T1)

Ricardo Cirilo Amorea Mercado(T2)

研究主題 「Let's try communication more!」 ～児童が主体的に取り組む外国語教育の創造～

目指す児童像
身近な表現や言葉に慣れ親しみ、自らコミュニケーションを楽しむ子ども

1 単元名 「What do you like?」 (Let's Try! 1) 「友達に好きなものを聞いてみよう」

2 単元の目標

(1) 知識・技能

日本語と英語の音声の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。

(2) 思考力・判断力・表現力

好きな色やスポーツ、食べ物等について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりして、伝え合おうとしている。

3 評価規準

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・身の回りの物を表す語句の日本語と英語の違いに気付いている。 ・何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	何が好きかを尋ねる表現を使って、友達に尋ねたり聞かれたことに答えたりして互いに伝え合っている。	相手に伝わるように工夫しながら、すすんで好きなものを尋ねたり答えたりしている。

4 単元について

これまでの単元の中で、ゲームやアクティビティを通して、互いに挨拶を交わす (Hello. How are you? I'm fine/good/sleepy/hungry...等)、物の数を聞く (How many?)、何が好きかを答える (Do you like~? Yes, I do. / No, I don't. I like ~.) 等の表現に慣れ親しんできた。また、その中で、スポーツ (sports) や食べ物 (food)、果物 (fruit)、色 (color) 等の英語での言い方にも触れてきている。

本単元では、これら既習の単語、表現を使って、友達や先生方がどんなものが好きか情報を集めるために、インタビューを行う。その後、インタビューした内容から、「Who am I?クイズ」を出題する。インタビューした内容が、次のゲーム性のある内容につながるように活動を設定することで、より主体的に、インタビューに取り組む姿勢につながると考えた。また、活動を通して、友達や先生の知らなかった一面を知ること、今後の学校生活において、更に互いの関係を深めていくことにもつなげていきたい。

5 主な表現・語彙

【表現】

A: Hello! My name is Hiroki. What's your name?

B : Hello. My name is Nana.

A: Interview OK?

B : OK.

A: What (color, sports, fruit) do you like?

B : I like (color, sports, fruit).

A : Oh, I see. Question (2~4).

What (color, sports, fruit) do you like?

B : I like (color, sports, fruit).

A : (I don't understand)→once more please.

A : That's all. Thank you.

B : You're welcome.

A : See you.

B : See you.

【語彙】 【sports】 : baseball, basketball, soccer, dodgeball, swimming, volleyball, table tennis

【color】 : red, blue, pink, green, brown, black, gray, white, orange, purple, yellow

【fruit】 : grapes, pineapple, peach, melon, banana, kiwi fruit, lemon

6 児童の実態

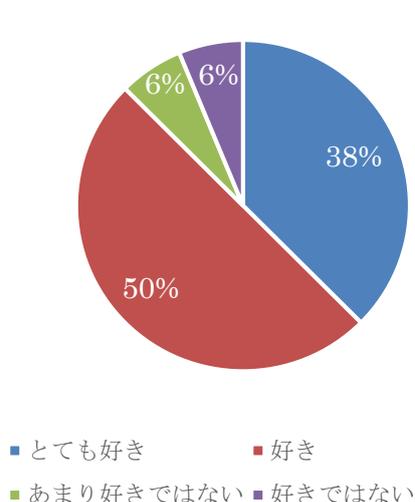
(1) 教師から見た実態

本学級の児童は、外国語の授業を前向きに捉えている児童が多く、楽しんで取り組んでいる。特に英語の歌や、体を動かして表現することには積極的で、友達同士も自然と関わり合いながら取り組む姿が見られる。

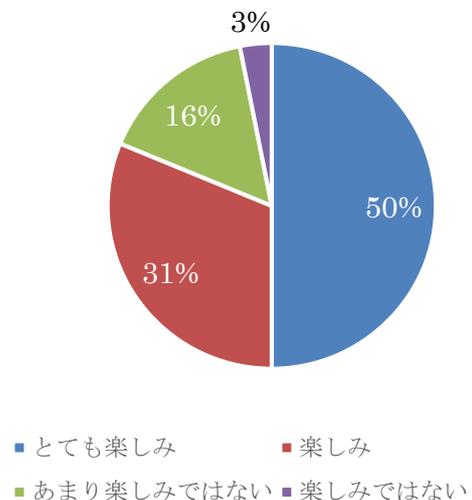
ただ、苦手意識を抱いている児童もおり、英語の授業に対する温度差を感じる場面も見られる。特に、英語の音声を聞き取ることには難しさを感じている児童が、「何を言っているのかわからない」「何をしたいのかわからない」という理由で、活動の停滞につながってしまうことがしばしばみられる。そこで必要なのが、英語への苦手意識をもつ児童には、より分かりやすく英語表現に慣れ親しませる活動を繰り返し行うことで、「わかった」「できた」という自信をもたせることだと考える。まずは、どの児童にもわかりやすく安心して取り組むことのできる内容を設定し、楽しいという思いをスタートにして、活動のゴールにつなげていく。

(2) 児童の実態調査結果及び考察

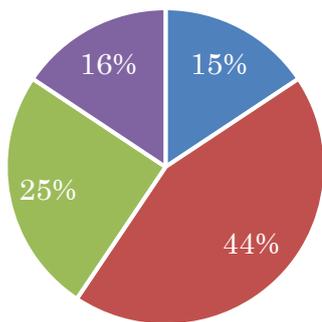
1. 英語を聞いたり話したりすることが好きですか



2. 英語の授業がある日はどんな気持ちですか

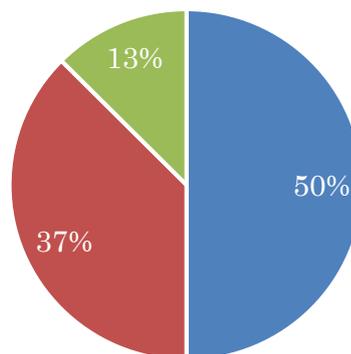


3. 先生やALTの先生の話していることがわかりますか



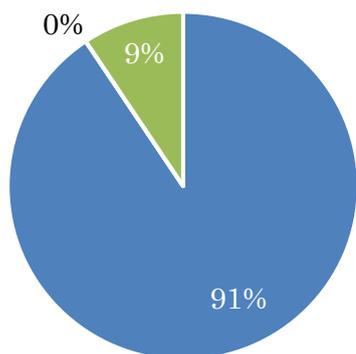
■ とてもわかる ■ わかる
■ あまりわからない ■ まったくわからない

4. 授業では、できる限り英語を使うようにしていますか



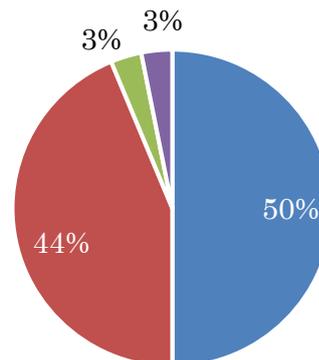
■ している ■ あまりしていない ■ まったくしていない

5. 英語が話せるようになりたいですか



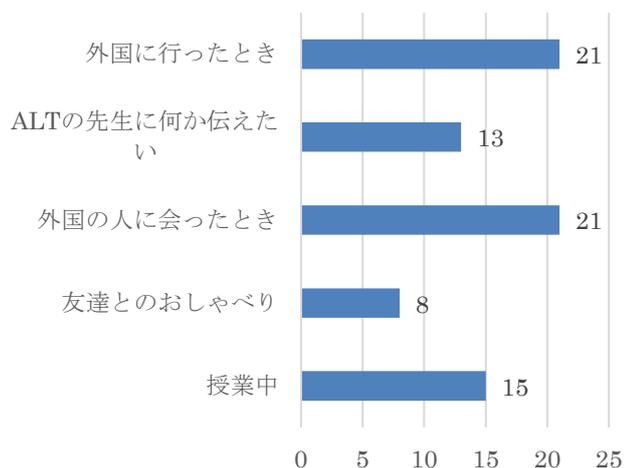
■ なりたい ■ あまりなりたくない ■ なりたくない

6. 英語にどんなイメージを持っていますか



■ とても楽しい
■ 楽しい
■ あまり楽しくない
■ とても楽しくない

7. どんな時に英語を使いたいと思いますか（複数回答可）



8. 英語はどんな時に役立つと思いますか。

(自由記述)

- ・ 外国に行ったとき（旅行、仕事、留学等）（5）
- ・ 外国の人に道案内をするとき（4）
- ・ 外国の人と仲良くなる時（3）
- ・ 外国の人に会ったとき
- ・ 外国の人に話しかけられたりしたとき
- ・ 英語の問題が出たとき
- ・ 外国の困っている人を助ける時

この結果と日々の児童の姿を重ね合わせ、次のように考察した。

質問1、2より、英語を聞いたり話したりすることや、英語の授業のイメージについては前向きな意識をもつことができていることがわかる。これは、日常の英語の様子と合わせて考えた時に、他の教科とは違ったゲーム性や活動内容の違いに魅力を感じているものと考えられる。質問5からは、多くの児童が、英語を身に付けたいという意欲をもっていることがわかる。しかし、その一方で、質問3では、全体の41%の児童が、先生が英語で話すことが「あまりわからない・わからない」と答えた。ここから、英語が好きで楽しく活動はしているが、内容の理解にまでは至っていないことや、そこに至るまでの積み上げが不足していることがうかがえる。質問4では、授業の中で英語を使うようにしているかという質問に対して「あまりしていない・まったくしていない」が全体の半数を占めている。質問1、2、5と合わせてみた時に、できるようにはなりたいたが、まだすすんで自分から英語を使ってみようと思えるまでには至っていないことが考えられる。そのため、活動の中で繰り返し取り組んだり、わかりやすく簡単にできるものから、徐々にスモールステップで自信をつけていったりすることを通して、「できるようになった」という実感をもたせることが必要だと考えた。また、質問7、8から、児童の中にある英語を使う具体的な場面として、「外国の人と接する」ことや「外国に行くこと」が強いことがわかる。このことから、活動の中で、実際に外国に行ったときや外国の人と話すことを想定するような場面設定や授業内容の工夫を行っていきたい。

7 研究主題に迫るための指導の工夫

○「児童が主体的に取り組む」ための手立て

(1) 身近な表現や言葉に慣れ親しむ

・外国語に慣れ親しむための導入の工夫

「歌」に身振り手振りを付けながら歌っている。ただ歌うだけではなく、身振り手振りで表現することによって、楽しみながら身近な表現や言葉に慣れ親しむことができるようにした。また、音声だけでは理解が厳しい場合にも、身振り手振りと合わせることで理解がすすむと考えた。また、毎時間のはじめに繰り返すことで、外国語の授業への切り替えが自然と行えるように仕向けていくことも意図している。

・言葉や表現の掲示の工夫

これまで学習してきた会話のやりとりを掲示し、活動への意欲を高めるとともに、自信のない児童が確認できるようにするための手立てとして活用した。また、外国語の授業の中だけではなく、日常生活の中で常に目にする状況をつくることで、自然と繰り返し見たり聞いたりするような環境設定にしていく。

(2) 自らコミュニケーションを楽しむ

・How are you?タイムの工夫

毎時間の始めに、友達同士自分から声を掛け合って、基本的な挨拶のフレーズのやりとりを行う活動を取り入れた。このことにより、英語の授業の始まりで、気持ちのスイッチを入れるとともに、これまで身に付けてきた単語やフレーズを確認することにもつなげていく。

・質問や応答の仕方の例示

やりとりを通して、質問したり、それに対して応答したりすることで、会話をつなげたり広げたりできるよう、例示し意識付けを行った。また、T2としてALTが授業に入る際には、応答することで相手の思いや考えを受け止めている「応答のよさ」を実感できるようにした。

・児童にとって必要感のある活動内容の工夫

「外国の人と仲良くなるために」、話題を切り出しやすい互いの「好きな〇〇」を尋ねることを目的とした活動をゴールに設定した。ただ尋ねるだけではなく、自然な会話のやり取りの中から行えるように意識した内容を組み立てていく。また、そこで聞き取った内容から、「Who am I?クイズ」というゲーム性のある流れにつなげることで、児童がより主体的にインタビューの活動に取り組むことが期待される。

8 指導計画と評価計画（全4時間）

時	○目標 ・学習活動	◎支援 ★評価【観点】（方法）
1	<p>○身の回りのもの（色・果物・食べ物・スポーツ）のものの言い方を確認する</p> <p>【Let's play】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはじきゲームを行い、単語の確認をする。 ・「身の回りの物 BINGO」をする。 <p>【Let's chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「What do you like?」を歌う。 	<p>◎単語の練習を通して、日本語と英語の違いに触れる。</p> <p>◎おはじきゲームを行う際には、わかりやすいルールで行う。</p> <p>◎ペアで、毎回発声しながら行うことを伝える。</p> <p>◎BINGO で扱うのは1種類ごと指定する。 (ex) 「果物ビンゴ」「スポーツビンゴ」等</p> <p>★身の回りのもの（色・果物・食べ物・スポーツ）などの、日本語と英語の違いに気付く。</p> <p>【知・技】（振り返りカード）</p>
2	<p>○身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「What do you like?」を歌う。 <p>【Let's play】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミッシングゲームをする。 <p>【Let's listen】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰が何を好きかなのかを予想し、線で結ぶ。 <p>【Let's watch and think】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の好きなものを予想して書く。 ・予想したものと比べて、音声を聞く。 <p>【Activity】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何が好きかを聞く表現を使って、ペアで聞き合う。 <p>A : What () do you like? B : I like ()</p>	<p>◎単語を発音するだけではなく、ゲームを通して楽しみながら、身の回りの物の単語の確認をする。</p> <p>◎聞くことを通して、誰が何を好きなのかについて、どのように表現しているかを確認させる。</p> <p>◎ペアで活動を行う前に、全体で基本のフレーズの確認を繰り返し行った上で、自信をもって活動に取り組めるようにする。</p> <p>★何が好きかを尋ねたり答えたりしている。</p> <p>【思・判・表】（行動観察・振り返りカード）</p>
3	<p>○友達同士でインタビューをし合い、それを基にした「Who am I」クイズを行う。</p> <p>【Let's chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「What do you like?」を歌う。 <p>【Activity】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなものインタビューを行う。 <p>【Let's play】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Who am I?」クイズをする。 	<p>◎デジタル教科書の音声教材を基に、活動で使うフレーズについての様々なバリエーションに触れさせる。</p> <p>◎インタビューの前にモデル会話をチャンツで確認する。</p> <p>◎グループごとに分担して友達にインタビューをしに行く。</p> <p>◎グループごとに相談しながら、「Who am I クイズ」の答えを考えさせる。</p> <p>◎「Who am I?クイズ」はALTが出題する。</p> <p>★相手に伝わるように工夫しながら、すすんで好きなものを尋ねたり答えたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】（行動観察・振り返りカード）</p>

<p>4 (本時)</p>	<p>○先生たちにインタビューをし合い、それを基にした「Who am I」クイズを行う。</p> <p>【Let's chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「What do you like?」を歌う。 ・「What () do you like?」を歌う。 <p>【Activity】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなものインタビューを行う。 <p>【Let's play】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Who am I?」クイズをする。 	<p>◎グループごとに分担して友達にインタビューをしに行く。</p> <p>◎ただ好きなものを聞いてくるのではなく、挨拶からの自然な会話の中で聞いてくることを意識させる。</p> <p>◎聞き取れなかったり、言っていることがわからなかったりする時には、そのままにせず聞き返すことを確認する。</p> <p>◎グループごとに相談しながら、「Who am I クイズ」の答えを考えさせる。</p> <p>◎「Who am I?」クイズはALTが出題する。</p> <p>★相手に伝わるように工夫しながら、すすんで好きなものを尋ねたり答えたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(行動観察・振り返りカード)</p>
-------------------	--	---

9 本時の展開 (4 / 4)

(1) 本時の目標

Who am I? クイズに向けて、何が好きかを進んで尋ねたり答えたりしようとする。

(2) 展開

過程	学習活動	◇T1の活動 ◇T2の活動	◎指導上の留意点★評価基準	準備物
導入 8分	1、Greeting ♪Hello song 2、Warm up ♪How's the weather? 3、How are you?タイム 友達や周りの先生方に、挨拶と簡単な質問をする。	◇◆挨拶をし、児童と一緒に歌う。 ◇◆モデル会話をする。	◎英語の歌に合わせて体を動かすことで、明るく楽しい雰囲気作りをする。	PC
展開	Today's goal えい語を使って、先生たちの好きなものを聞いてみよう！			
5分 15分	4、本時の学習内容を確認する。 5、Let's chant ・「What () do you like?」を歌う。 やりとり例 A: Hello! My name is Hiroki. What's your name? B: Hello. My name is Nana. A: Interview OK? B: OK. A: What (color, sports, fruit) do you like? B: I like (color, sports, fruit). A: Oh, I see. (Me, too. / but I like~) Question (2~4). What (color, food, sports, fruit) do you like? B: I like (color, sports, fruit). A: (I don't understand) →once more please. A: That's all. Thank you. B: You're welcome. A: See you. B: See you.	◇めあてを掲示する。 ◇◆3パターンの表現を流れて歌いながら確認する。 ◇◆デモンストレーションを行う。 ◇ICT 機器や掲示物を利用して、会話の流れを確認する。	◎チャンツを通して、質問文と応答文の確認を行わせる。 ◎繰り返し歌った上で、自信をもってインタビューの活動に進めるようにする。 ◎インタビューする際には、インタビューシートを持って、聞き取ったことをその場でメモさせる。 ★相手に伝わるように工夫しながら、すすんで好きなものを尋ねたり答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(行動観察・振り返りカード)	PC インタビューシート
10分	6、【Let's play】 ・「Who am I?クイズ」をする。	◆アンサーカードを引き、出題する。 ◇◆答えの確認をする。	◎グループで協力して聞き取ったものを基に「Who am Iクイズ」に答えさせる。	ホワイトボード

終 末 7 分	7、振り返りカードを書く。 ・自己評価をする。 ・感想を書く。 8、Goodbye song ・英語の歌に合わせて体を動かす。	◇発表者を指名する。 ◇◆児童と英語で挨拶する。	◎学習を振り返り、学習の成果についての児童の気づきを促すようにする。	ふり返りカード
------------------	---	-----------------------------	------------------------------------	---------

(3) 本時の視点

- ・「Who am I?クイズ」に向けて行った、先生方へのインタビューの活動は、児童の主体的な活動を促す上で有効であったか。

1 0 板書計画

Unit5 What do you like?
1/27 Today's goal
えい語を使って、先生たちの好きなものを聞いてみよう!

Greeting	Smile 絵カード	○→Oh, I see. Me, too.
Warm up		×→You like _____?
Activity	clear voice 絵カード	But I like _____.
Game		?→pardon? one more please.
Today's point	eye contact 絵カード	→_____. I don't know.
Goodbye song		

1 1 会場図 (体育館)

